

チェンジ！チャレンジする子どもを目指して～子どもが主体となって取り組む特別活動～

越前町常磐小学校

【目指す子どもの姿】

たくましい子の育成

「深く考える子」・・・自分ですすんで考え、話し合いに参加する子

「思いやりのある子」・・・相手のことを考え、だれとでも協力しあえる子

「がんばりぬく子」・・・自分の力で最後までやってみる子

右のめざす児童像を達成するため、今年度は、子ども達に任せる活動を多く設定し、子ども達が自分たちで決定し学校を動かすことで、自己決定力、自己存在感、そして共感的人間関係を養うことを目指すことにした。

【令和4年度の取組み】

○ときわっ子委員会での活動

- ・今年度は、全校（3～6年）で1つの委員会とし、その中で、4つの係を決めた。「エンジョイイベント」「健康の会」「運動会」「放・連・送」という係の名称は、自分たちで考えた。委員会の時間には、日常的な活動の反省と全校に関わる問題や活動について自分たちで考えたり、企画・運営したりした。
- ・タブレットの OneNote を利用して、各係の活動を可視化し、一体感をもたせた。
- ・児童集会（七夕集会・クリスマス集会）などの企画・運営を高学年中心に行った。
- ・全校に関わる活動について話し合う時間を設けた。「学校で飼っている亀の世話について」「大休みにみんなが楽しく遊ぶには」「ゲームや YouTube の時間について」など、委員会の時間に課題を出して、全校での取り組みに移した。大休みの遊びは、これまで高学年が中心になっていたが、低・中・高学年それぞれが遊びを企画して遊びを決め、実施した。



クリスマス会での司会

○行事での活動

- ・常磐小学校・地区体育大会では、パフォーマンスの曲決めから振り付け、低・中学年への指導まで、高学年だけで行った。
- ・もちつき大会では、お世話になった地域の方に喜んでもらおうと、6年生が会場で流すコンテンツを作り、上映した。また、準備や後片付けなども高学年が中心となって行った。



ゲームや YouTube についての話し合い

【成果】

- ・ときわっ子委員会として一つの委員会としたことで一体感が生まれ、自分たちで学校をよくしていこうという雰囲気が高まった。
- ・七夕集会、クリスマス会などのお楽しみ集会を高学年が企画し、全校で協力して行うことで、より主体的に取り組むことができた。
- ・亀の世話、メディア時間、休み時間の遊び方など学校の問題点を児童が中心となり話し合うことで、子ども達に自己決定させる場ができた。

